



# 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年10月26日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5015 URL <http://www.bpcastrol.com>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小石 孝之  
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 渡辺 克己 (TEL) 03(5719)7870  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第3四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	9,195	△5.3	1,946	△7.4	1,962	△6.6	1,094	△5.6
23年12月期第3四半期	9,707	2.7	2,101	△3.2	2,100	△3.5	1,160	△5.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	47.68	—
23年12月期第3四半期	50.53	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	12,124	9,061	74.7
23年12月期	11,999	8,334	69.5

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 9,061百万円 23年12月期 8,334百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.50	—	10.50	16.00
24年12月期	—	5.50	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	13,600 0.9	2,546 △11.6	2,522 △12.1	1,463 △8.6	63.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	22,975,189株	23年12月期	22,975,189株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	17,045株	23年12月期	16,934株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	22,958,189株	23年12月期3Q	22,958,255株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P. 3
(2) 追加情報.....	P. 3
3. 四半期財務諸表.....	P. 4
(1) 四半期貸借対照表.....	P. 4
(2) 四半期損益計算書.....	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景とした回復基調の一方で、消費の増勢が一服してきたこと等から景気回復の動きに足踏み感が見られました。また世界経済も、欧州における債務危機が長期化し、景気減速の動きが継続するなど先行きの不透明感が強い状態で推移しています。さらに金融市場では円高の長期化、株式市場での日経平均株価の伸び悩み、デフレ基調の継続等、景気の下振れリスクは依然高い状況にあります。

自動車業界におきましては、エコカー減税・エコカー補助金による環境対応車への買い替え支援策も背景に、自動車登録台数は消費者に支持されているハイブリッド車や小型低燃費車が牽引する形で12ヶ月連続の前年比増となりましたが、当初7月にも財源を使い切ると見られていたエコカー補助金が9月中旬まで持ちこたえるなど、消費に陰りも見られました。

また、ガソリン価格は当第3四半期会計期間末でも高止まりしており、加えて8月の消費税増税法案の成立も手伝って消費者の節約志向を更に加速させております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、引き続き環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイルの販売を中心に、オートマチックミッション用オイルの拡販も合わせて、高付加価値商品比率の向上を図ってまいりました。しかしながら前述の消費者マインドの冷え込みの影響から、小売店や量販店においては夏場以降、カー用品・レジャー関連商品の売上が落ち込み、またカーディーラーにおいてもメンテナンス入庫台数の回復は見えておらず、エンジンオイル交換需要に大きく影響いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は9,195百万円、営業利益は1,946百万円、経常利益は1,962百万円、四半期純利益は1,094百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、11,639百万円（前事業年度末は11,531百万円）となり、107百万円増加いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金（552百万円の減少）、商品及び製品（22百万円の増加）、貸付金（554百万円の増加）及び未収入金（62百万円の増加）によるものです。（なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。）

## (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、484百万円（前事業年度末は467百万円）となり、16百万円増加いたしました。これは、主に有形固定資産（23百万円の増加）によるものです。

## (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,017百万円（前事業年度末は3,602百万円）となり、585百万円減少いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金（304百万円の減少）、未払金（196百万円の減少）、未払費用（344百万円の増加）、未払法人税等（356百万円の減少）及び賞与引当金（88百万円の減少）によるものです。

## (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、44百万円（前事業年度末は62百万円）となり、17百万円減少いたしました。これは、主に退職給付引当金（20百万円の減少）によるものです。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、9,061百万円（前事業年度末は8,334百万円）となり、727百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が四半期純利益により1,094百万円増加し、剰余金の配当により367百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年2月3日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	105,020	111,522
受取手形及び売掛金	2,705,350	2,152,900
商品及び製品	468,769	491,306
原材料及び貯蔵品	34,124	46,692
前払費用	29,506	30,102
繰延税金資産	308,610	308,610
短期貸付金	7,422,444	7,977,432
未収入金	447,248	509,776
その他	10,091	10,805
流動資産合計	11,531,167	11,639,150
固定資産		
有形固定資産	297,826	321,124
無形固定資産	7,405	7,921
投資その他の資産	162,686	155,839
固定資産合計	467,918	484,885
資産合計	11,999,086	12,124,035
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,292,545	988,457
未払金	819,263	622,620
未払費用	658,508	1,003,322
未払法人税等	626,471	269,525
預り金	16,314	25,804
賞与引当金	168,767	80,621
その他	20,646	27,124
流動負債合計	3,602,517	3,017,476
固定負債		
退職給付引当金	36,355	16,202
受入保証金	25,988	28,592
固定負債合計	62,344	44,795
負債合計	3,664,862	3,062,272

（単位：千円）

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金	1,749,600	1,749,600
利益剰余金	5,096,760	5,824,228
自己株式	△6,451	△6,489
株主資本合計	8,331,259	9,058,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,965	3,073
評価・換算差額等合計	2,965	3,073
純資産合計	8,334,224	9,061,763
負債純資産合計	11,999,086	12,124,035

（2）四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成23年1月1日 至平成23年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）
売上高	9,707,240	9,195,508
売上原価	4,678,724	4,488,467
売上総利益	5,028,515	4,707,041
販売費及び一般管理費	2,927,266	2,760,982
営業利益	2,101,249	1,946,059
営業外収益		
受取利息	13,022	17,683
受取賃貸料	11,588	11,588
受取手数料	9,111	9,945
受取補償金	4,857	2,703
為替差益	10,009	2,105
その他	4,198	2,996
営業外収益合計	52,787	47,022
営業外費用		
売上割引	53,766	31,061
その他	2	2
営業外費用合計	53,769	31,063
経常利益	2,100,267	1,962,017
特別損失		
固定資産除却損	839	421
特別退職金	30,504	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,484	—
特別損失合計	47,828	421
税引前四半期純利益	2,052,439	1,961,596
法人税等	892,169	866,796
四半期純利益	1,160,269	1,094,799



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。